

人間とクルマの一体感よりもさらに先 「自分がクルマになった」かのような シンクロ感覚を目指したインテリア

スポーツカーのインテリアは、人間とクルマが意志を通わせるための、「走ること」を最優先に考えた場所。「応える」「包む」「纏う」の3つをコンセプトとして掲げ、これをかたちづくっていきました。

クルマとドライバーの動きを一体化させるための設計を徹底したシート、手の内でクルマを自在にコントロールする感覚を味わえるHonda最小径のステアリング等の採用により、ドライバーの意志に「応える」。
運転操作に集中できるよう、あらゆる操作系の配置を突き詰めたインテリアでドライバーを「包む」。
いつでも気持ちよくドライビングを楽しめるよう、オープンスポーツカーのために専用設計したエアコンで快適な温度の空気を、ドライバーが「纏う」。

人間とクルマの一体感よりさらに先の「自分がクルマになった」かのようなシンクロ感覚を味わっていただけるようにすることを目指しました。

